

学校教育目標	進んで勉強しよう 思いやりのある人になろう 進んで心身をきたえよう	【目指す学校像】		【目指す児童・生徒像】		【目指す教師像】	
		1. 生徒が安全で安心して生活できる学校 2. 将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと生活できる学校 3. 伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域が共に支え合う学校		1. 探究心・創造性をもち、学び続ける生徒 2. 多様性を認め、正義を大切にできる生徒 3. 心身の健康を目指し、己を鍛える生徒		1. 人権を重んじ、生徒・一人一人の良さを認め、言葉や人間性に働きかけ、組織として高め合う教師 2. 専門性、指導力を磨き合い、組織として高め合う教師 3. 豊かな人間性を備えた生徒・保護者・地域から信頼される教師	
		1. 生徒が安全で安心して生活できる学校 2. 将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと生活できる学校 3. 伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域が共に支え合う学校		1. 探究心・創造性をもち、学び続ける生徒 2. 多様性を認め、正義を大切にできる生徒 3. 心身の健康を目指し、己を鍛える生徒		1. 人権を重んじ、生徒・一人一人の良さを認め、言葉や人間性に働きかけ、組織として高め合う教師 2. 専門性、指導力を磨き合い、組織として高め合う教師 3. 豊かな人間性を備えた生徒・保護者・地域から信頼される教師	
		1. 生徒が安全で安心して生活できる学校 2. 将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと生活できる学校 3. 伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域が共に支え合う学校		1. 探究心・創造性をもち、学び続ける生徒 2. 多様性を認め、正義を大切にできる生徒 3. 心身の健康を目指し、己を鍛える生徒		1. 人権を重んじ、生徒・一人一人の良さを認め、言葉や人間性に働きかけ、組織として高め合う教師 2. 専門性、指導力を磨き合い、組織として高め合う教師 3. 豊かな人間性を備えた生徒・保護者・地域から信頼される教師	

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能の確実な育成と個に応じた指導の実施	わかる授業を目指した指導方法及び「振り返り」の工夫改善	学びを深める効果的な「振り返り」の実践	4. 定期的に授業の分析・改善を行った90%以上 3. 定期的に授業の分析・改善を行った80%以上 2. 定期的に授業の分析・改善を行った70%以上 1. 定期的に授業の分析・改善を行った70%未満	4	4. 「振り返り」が学習の定着に役立っている80%以上 3. 「振り返り」が学習の定着に役立っている70%以上 2. 「振り返り」が学習の定着に役立っている70%未満 1. 「振り返り」が学習の定着に役立っている70%未満	4	生徒90.8%で中間時より0.7%上昇したが、若干ではあるが、授業改善の成果が表れた。	組織基本を大切に、組織的な授業改善に意欲的に取り組んでいる。	4	授業で向上アドバタイザー等での学びを今後も活かすに、更に効果的な振り返りを実践していく。
		ICT機器を効果的に活用した学習指導方法の実践	デジタル教材やアプリを活用した学習効率を高める授業の実施	4. 生徒の態度と理解を促す目的意識の活用に取り組む90%以上 3. 生徒の態度と理解を促す目的意識の活用に取り組む80%以上 2. 生徒の態度と理解を促す目的意識の活用に取り組む70%以上 1. 生徒の態度と理解を促す目的意識の活用に取り組む70%未満	4	4. タブレットを活用したわかりやすい学習活動95%以上 3. タブレットを活用したわかりやすい学習活動90%以上 2. タブレットを活用したわかりやすい学習活動85%以上 1. タブレットを活用したわかりやすい学習活動80%未満	2	中間時より生徒84.2%と4%増加。昨年度並みだが、さらに数値が上がるよう、工夫改善する。	ICT機器を活用し、授業改善に取り組んでいる。	4	使用頻度も高く、活用されている、効果的な利用については教科内や校内研修で情報共有していく。
豊かな心	自らを高め、多様性を尊重する態度と豊かな感性、創造力、表現力の育成	学習意欲の向上と家庭学習の定着	課題の出し方と家庭学習計画表の活用	4. 家庭学習への指導を毎週行った80%以上 3. 家庭学習への指導を毎週行った70%以上 2. 家庭学習への指導を毎週行った65%以上 1. 家庭学習への指導を毎週行った65%未満	4	4. 家庭学習の時間が平均1～2時間が80%以上 3. 家庭学習の時間が平均1～2時間が70%以上 2. 家庭学習の時間が平均1～2時間が60%以上 1. 家庭学習の時間が平均1～2時間が60%未満	2	生徒60.1%で中間時より約10%上がった。1・2年生の取組を強化していくことが課題である。	組織的に家庭も巻き込み、家庭学習の習慣を確立できるような支援を行うことが必要である。	2	家庭学習の習慣がない生徒が多いので、毎時間でも初めに向かう習慣を付けさせる取組が必要である。
		生命尊重の精神の育成を基盤とした高い人権感覚を培う教育活動の実践	いじめ根絶の働き掛けとふれあい月間の取組の充実	4. 生徒の変化を見逃さないように努めた100% 3. 生徒の変化を見逃さないように努めた95%以上 2. 生徒の変化を見逃さないように努めた90%以上 1. 生徒の変化を見逃さないように努めた90%未満	4	4. 生徒が主体的に取組むよう指導した95%以上 3. 生徒が主体的に取組むよう指導した90%以上 2. 生徒が主体的に取組むよう指導した85%以上 1. 生徒が主体的に取組むよう指導した85%未満	2	生徒92.5%で中間時より比で0.7%減少。2学期以降の生活指導の養生状況に影響している。	命の大切さ、人権尊重の意識を高めていく。	3	研修を実施し、見聞の末、自然防止、早期発見、初期対応について、個々の教員の力量を高めていく。
健康やかな体	健康的な生活習慣・食習慣による、心身ともに健やかな生徒の育成	他者理解を心掛け人間関係における課題を見つめ解決していく生徒の育成	学級活動・行事・生徒会活動・部活動等における円滑な人間関係の構築	4. 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した95%以上 3. 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した90%以上 2. 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した85%以上 1. 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した80%未満	4	4. 食育で学んだ知識を生活に生かしている100% 3. 食育で学んだ知識を生活に生かしている95%以上 2. 食育で学んだ知識を生活に生かしている90%以上 1. 食育で学んだ知識を生活に生かしている85%未満	3	生徒95.2%で中間時より約2%減少したが、高水準は維持できている。リダーの育成が課題。	思いやり、気持ちよさを大切にし、他人と関わり、支え合える集団作りの教員が意図的に支援していく。	3	思いやり、気持ちよさを大切にし、他人と関わり、支え合える集団作りの教員が意図的に支援していく。
		自ら健康管理のできる生徒の育成	早寝・早起き・朝ごはんの取組の働きかけ	4. 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した95%以上 3. 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した90%以上 2. 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した85%以上 1. 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した80%未満	3	4. 食育で学んだ知識を生活に生かしている100% 3. 食育で学んだ知識を生活に生かしている95%以上 2. 食育で学んだ知識を生活に生かしている90%以上 1. 食育で学んだ知識を生活に生かしている85%未満	1	生徒83.9%で中間時より6.9%減少し、昨年度より数値にも届かず受容範囲による睡眠不足もある。	家庭を巻き込みながら、生活習慣を整える必要がある。	2	生活習慣の乱れによるリスクを保健によりも発見し、家庭の支援も呼びかける。
輝く未来	自分を見つめ、生き方を考えるいくばくめ、資質・能力の育成	自己の将来を切り拓く、キャリア教育の推進	総合的な学習の時間を活用した自らの生き方を考え、自己決定していく指導の推進	4. 生徒が主体的に課題解決できるような指導した90%以上 3. 生徒が主体的に課題解決できるような指導した85%以上 2. 生徒が主体的に課題解決できるような指導した80%以上 1. 生徒が主体的に課題解決できるような指導した75%未満	4	4. 学校でたのび活動を進めている80%以上 3. 学校でたのび活動を進めている75%以上 2. 学校でたのび活動を進めている70%以上 1. 学校でたのび活動を進めている70%未満	3	生徒94.1%で中間時より約1.4%上昇。評価はだいたい2・3年生のキャリア教育の成果である。	必要に応じて対応が行われている。将来をどのように考えるのか、継続して取り組む必要がある。	2	自身の課題や悩みを考へ、よりよい生き方について自己選択できる機会を設ける。
		自身の将来や成長を自己評価する取組の充実	行事や学期ごとのキャリアパスポートの活用	4. 生徒が主体的に取組むよう指導した95%以上 3. 生徒が主体的に取組むよう指導した90%以上 2. 生徒が主体的に取組むよう指導した85%以上 1. 生徒が主体的に取組むよう指導した80%未満	1	4. 将来の生き方について自ら進んで考え、95%以上 3. 将来の生き方について自ら進んで考え、90%以上 2. 将来の生き方について自ら進んで考え、85%以上 1. 将来の生き方について自ら進んで考え、80%未満	2	生徒91.4%で中間時より約13.3%上昇。評価は2だが2・3年生のキャリア教育の成果である。	必要に応じて対応が行われている。キャリアパスポートも計画的に活用されていく。	3	1年生でも自分の得意が生かせる活動について考え、得意なことを伸ばせる環境を作っていく。
		目標達成までのプロセスを重視した指導の実施	生徒や保護者、先生、丁寧かつ誠実な進路指導の実施	4. 生徒が主体的に取組むよう指導した95%以上 3. 生徒が主体的に取組むよう指導した90%以上 2. 生徒が主体的に取組むよう指導した85%以上 1. 生徒が主体的に取組むよう指導した80%未満	4	4. 将来の生き方について自ら進んで考え、95%以上 3. 将来の生き方について自ら進んで考え、90%以上 2. 将来の生き方について自ら進んで考え、85%以上 1. 将来の生き方について自ら進んで考え、80%未満	2	生徒86.6%で中間時より約17.7%上昇。特に3年生が伸び、進路選択への真剣さが表れた。	先生方の指導はとてめりが多い。	4	発達段階にあった進路指導の充実を図っていく。